

ドローン・画像解析技術を活用した高線量下での森林管理の効率化

☐ 住む ☐ 癒す ☐ 学ぶ
☐ 動く ☐ 楽しむ ☒ その他

①提案によって解決する自治体の課題のイメージ

山林の適切な管理は、効果的、効率的な林業の確保のためのみならず、防災にも資するものであり、住民の安全・安心のために極めて重要である。令和8年度からの帰還困難区域における森林管理の再開に向けてガイドラインの策定が進められる一方、浜通り地域には、未だ放射線量が高いエリアが存在し、山林内での作業者の被ばくを最小限に抑えるため、森林管理に際して事前の調査、計画が重要である。ついては、高線量下における山林内（帰還困難区域を想定）において、ドローン及び画像解析技術を活用して放射線量計測、資源量調査、アクセス路となる林道の損傷状況の確認を行い、今後の森林管理に資する現況把握と管理の安全・効率化を図ることを目的に本実証事業を行う。

②提案の概要

地元企業（※株ふたば様と協議済み）と連携し、(株)ふたばのUAV活用技術とフジタのドローン緑地管理手法を用いて、森林管理に必要なデータを効率的に取得。

① UAVレーザー計測

：ドローンによる山林測量
（・山林の三次元化、・既存林道等の現況把握）

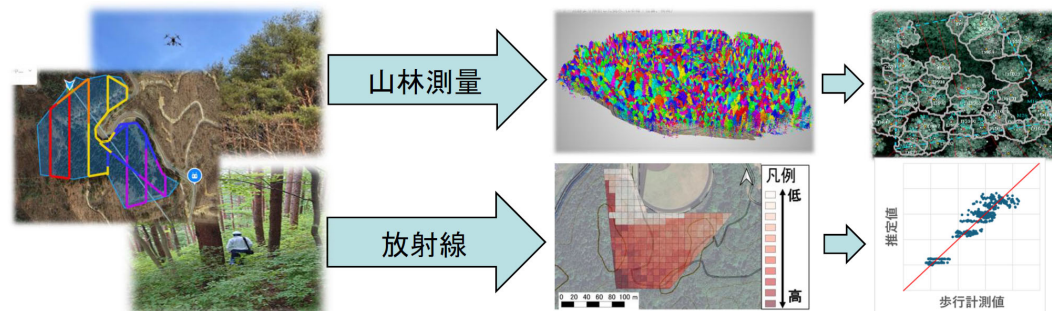
② 樹木解析

：①による取得データから資源量（本数、材積、樹種等）
及び木竹混交状況の推定

③ 空間線量率計測

：ドローンによる広範囲の空間線量率推定

①②③ → 高放射線量下での安全・効率的な森林管理に寄与する基礎資料作成



③事業実施に対し必要な要件

- ・ドローンが飛行可能な山林範囲をご提供ください。
- ・関係機関との協議にご協力ください。

④想定スケジュール

- ・10月 対象自治体へのヒアリング、計画作成
- ・12月 実装を想定した計測実施
- ・3月 成果報告シンポジウム

⑤地元企業等とのマッチング希望

☐ あり ☒ なし

会社名：株式会社フジタ